



広域広報

おきたま

8/15

No.17

平成9年(1997年)

みんなで

花いっぱい



飯豊町立飯豊中学校では、美しい学校生活環境を自分たちの手で作っていくことを目的に、生徒一人ひとりが一鉢の花を育てる「一人一鉢運動」を展開しています。全校生徒と先生方が、500鉢程のペゴニアとマリーゴールドを育てています。水やりなどの管理は当番制で行っており、自分の花だけではなくみんなの花を育てながら思いやりの心と友情を育てています。

この運動をとおして生徒たちの心にもきっと素晴らしい花が咲いていることでしょう。



バードが見た 源郷“おきたま”



イザベラ・バード (1831~1904)
(Isabella I. Bird)

イギリスの旅行家。1831年10月15日、イギリスのノークシャーに生まれる。幼少時から病弱だったため、医者に航海をすすめられ世界各地を旅行。日本へは1878年に初来日し、以後1894年~96年まで5回来日。

ここはアジアの アルカディア

明治維新後の動乱も治まりかけた十九世紀末(明治十一年)、イギリスの女性旅行家、イザベラ・バードは、置賜地域を訪れ「ここはアジアのアルカディア(桃源郷)である」と絶賛しました。

この頃の置賜地域は、明治九年の廃藩置県により置賜、山形、鶴岡の三県が合併して山形県となり、

…米沢平野は、南に繁栄する米沢の町があり、北には湯治客の多い温泉場の赤場があり、まったくエデンの園である。鋤で耕したというより鉛筆で描いたように美しい。米、蕪、とうもろこし、麴草、萩、藍、大豆、茄子、くるみ、水瓜、さやうり、柿、き、ざくろを豊富に栽培している。実り豊かに微笑する大地であり、アジアのアルカディア(桃源郷)である。

(『日本奥地紀行』から抜粋)

また、旧栗子トンネルが開通(明治十三年)するなど、現在の地域の基礎が築かれた時代でもありません。

しかし、当時の交通手段は良くも悪くも馬または人力車、その他は徒歩という時代。その上、山々に囲まれた本地域と他地域との交流に険しい峠にはばまれ、まして外国との交流などはほとんどない時代でもありました。このようなことから外国人を初めて見る地域では人だかりができるなど、好奇の目にさらされながらも、彼女は各地域の魅力や完成された文化、日本人の善徳などを讃えながら、日本人青年(通訳)とともに約三か月間、植浜を出発し日光、会津を経て新潟から置賜に入り東北地方を縦断し北海道までを旅行しました。

ありのままを あるがままに

彼女はこの旅行の記録を「日本奥地紀行」(高梨健吉訳、平凡社・東洋文庫)としてまとめており、この口で、当時の置賜地域のことを上記のとおり賞讃しています。今日の置賜地域は、当時とは比べようもないほど発展しましたが、彼女が描いた風景は今も失われずに存在しています。私たちが見過ごしがちな周りにあるいつもの風景をもう一度見直してみると、地域の魅力に出会えるはずです。そ

して約四十年前、東洋のアルカディアと絶賛された、この実り豊かに微笑する大地、おきたまをいつまでも大切にしていきたいものです。ありのままをあるがままに…

功績を讃えて

当時、国内はもとより外国にはほとんど知られていなかった東北地方の農村の状況を、この紀行文を通じて内外に紹介した彼女の功績は大であり、今では当時の置賜地域の状況を知る貴重な資料の一つになっています。

現在、この功績を讃え、南陽市では、ハイジアパーク南陽の中に「イザベラ・バード記念コーナー」を設置し、種々の資料を展示して彼女の人物像や旅の足跡などを広く人々に紹介しています。また、川西町と最上郡金山町ではイザベラ・バードに関する記念塔や記念碑を建立しました。



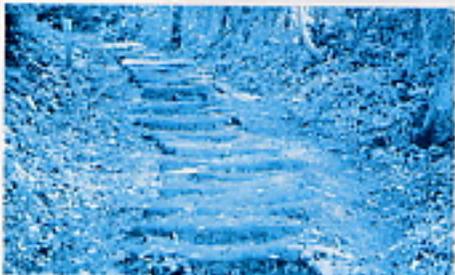
イザベラ・バード記念コーナー
(ハイジアパーク南陽内)

イザベラ・桃

①大里峠



②黒沢峠



③飯豊町の山居集落



小国町～飯豊町

新潟から大里峠を越えて玉川に入り、朴の木峠、黒沢峠を越えて市野々で宿泊。翌日、宇津峠など数箇所の険しい峠に苦労しながらも、市野々の美しさや飯豊町に入った時の田園風景のすばらしさに感動したようです。飯豊町は平成五年、農林水産省主催の「美しい日本の自然景観コンテスト」において大臣賞を受賞しました。当時もこのようなすばらしい景観が旅人の眼前に広がったことでしょう。

イザベラ・バードの足跡



④川西町の田園風景



飯豊町～川西町～高島町

手の了から飯訪峠を越えて、小松地内に入り宿泊。ここでは、外人が来たということで、旅館の周りには千五百人もの人だかりができたそうです。翌朝、調達した馬が群衆のざわめきなどでひどく暴れ苦労した様子が記録されています。黒川、吉田、洲島と進み秋川を舟で渡り高島町の津久茂に入りました。

⑥大正時代の赤湯温泉街



(資料：阿爾市教育委員会蔵)

高島町～南陽市

津久茂から赤湯温泉に入り、宿泊しようと思いましたが、馬市が開かれていたこともあり騒がしかったため、休憩後、上山温泉に向かいました。その後山形市、新庄市、金田町等を経て、秋田県、青森県、北海道と旅行しました。

⑤アルカディア記念塔(川西町)



置賜地域が「アジアのアルカディア」と賛嘆されたことから、「アルカディアの里」を象徴するため川西町埋蔵文化財資料展示館館内に建立されたアルカディア記念塔。

| 72歳 | 70歳 | 64歳 | 63歳 | 59歳 | 58歳 | 49歳 | 48歳 | 47歳 | 42歳 | 41歳 | 26歳 | 23歳 | |
|----------|---------------|--------|---------------------|----------|---------------------|-----------------------|--------------------------|----------|--|---|-------------------------------|-----------------------------|-----------------------|
| 十月十日、病没。 | 六か月間、モロッコを旅行。 | 日本に滞在。 | 朝鮮、中国を再訪。夏の間、日本に滞在。 | ベルシヤに滞在。 | 朝鮮、中国を旅行。夏の間、日本に滞在。 | 「日本奥地紀行」を出版、各紙で絶賛される。 | インド、カシミール、西チベット等に三か月間滞在。 | ベルシヤに滞在。 | 一月から二か月間、オーストラリアに滞在。この間十一月にニュージーランドに向かう。 | ハワイに七か月間滞在後アメリカに渡り、ロッキーマウンテンの療養所で数か月を過ごす。 | 五月から十二月まで日本に滞在。(七月中旬に置賜地域を来訪) | マレー半島を五週間旅行後、カイロ経由でイギリスへ帰る。 | 「日本奥地紀行」を出版、各紙で絶賛される。 |

イザベラ・バードの旅年表

アの形成に向けて



夕鶴の里 語り部の館・資料館 (南陽市)

民話「鶴の恩返し」の発祥の地として知られている南陽市の漆山地区では、民話を語り伝えることによって豊かな心を育むため、語り部による実演を行っています。

大型スクリーンや囲炉裏を設置した二百人収容の語り部ホールや民話を中心にした民俗資料館を併せ持つ施設です。



高鼻町文化ホール「まほら」(高鼻町)

ホールは客席が八百席あり、音響効果がよい施設です。二階にはグランドピアノが常設されており音楽発表会やミニコンサートなどをはじめ展示会や講演会など利用する人のアイデアにより自由な使い方ができます。

置賜地域は、縄文文化、古墳文化、上杉文化など古代から近代までの歴史、文化、豊かな自然資源に根ざした文化など多様な文化を育んできた地域です。

そこで、これらの音源を大切にしながら、地域の特性を生かした新たな文化を創造する観点から、全国に情報発信できる「文化創造エリアの形成」、圏域全体の振興を目標とした「文化施設のネットワーク化」と「広域文化交流拠点の整備」が求められています。

このようなことから、昨年度、文化活動交流機能等の整備促進を図る「米沢工業高校跡地利活用基本方針(案)」(山形県)並びに置賜地域全体を見据えた「市立米沢上杉博物館建設基本構想」(米沢市)が出されました。

具体的には、山形県の施設として可動収納式能舞台が付いた定員五百席程度のホールと国際的なシンポジウムや学会などが開催できる文化活動交流施設、米沢市の施設として、上杉氏関係をはじめと

置賜文化創造エリ



白川森交流センター「りふれ」(小国町)

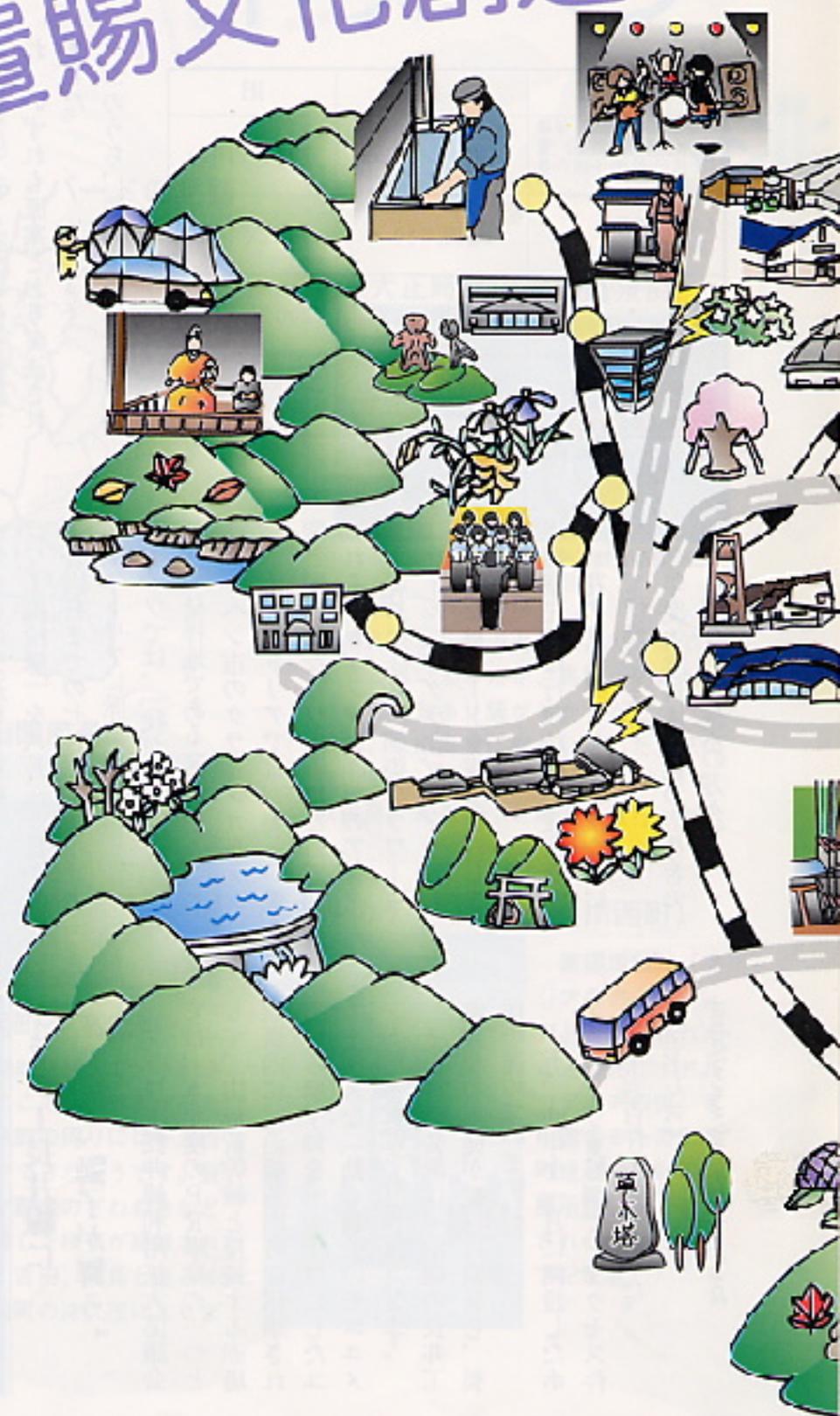
研修機能と宿泊機能を併せ持った施設です。昨年からは、この施設に能舞台を特設して「国際文化フェスティバル」を開催しています。今年も八月二十二日から二十日にかけて、能・狂言の公演のほか、パントマイムや日仏現代舞踊など「りふれ」をはじめの小国町各地で開催されますので、是非足を運んでみてください。



川西町フレンドリープラザ(川西町)

図書機能とホール機能が一体になった施設です。

図書機能については、井上ひさし氏から寄贈された蔵書からなる「遼筆堂文庫」と町立図書館で構成され、また、ホール機能については演劇をメインとし、席数は七百十二席です。



した地域の歴史、民俗、先人、美術工芸品などの展示・研究・情報発信、生涯学習・教育支援の拠点となる「市立米沢上杉博物館」が含築で整備される構想です。

現在、置賜地域には、ホール機能を有する文化施設として、各市町の文化会館等をはじめ、最近では高畠町の文化ホール「まはら」や川西町の「フレンドリープラザ」、飯豊町の町民総合センター「あーす」などがあります。また、地域固有の文化を育む施設として米沢市の「米沢織物歴史資料館」、長井市の「文教の杜」、南陽市の「夕鶴の里」、高畠町の「浜田広全記念館」などがあります。この他、図書館や民間の施設（ギャラリー）などたくさん文化施設があります。

一方、既存の施設を活用して、白鷹町では「アジア国際音楽祭」、小国町では「国際文化フェスティバル」を毎年開催し新たな文化を育んでいます。

将来は、整備される施設を中心に「文化創造エリアの形成」を、置賜三市五町が協力して目指すこととなります。

おきたま ニュース

七月臨時会を開会

本組合七月議会臨時会は、七月二十三日に開かれました。この議会では、まず本組合議会議長及び副議長の選挙が行われ、議長には梅津昌平氏（飯豊町議会議長）、副議長には小嶋四平氏（小国町議会議長）が選出されました。

続いて、報告・承認案件二件が承認された後、監査委員の選任（議決委員）など議案七件が審議され、いずれも原案通り可決されました。

このうち、監査委員には鈴木隆

大氏（米沢市議会議員）が選任されました。また、本組合手数料条例及び死亡獣畜埋設施設設置条例の一部改正については別表のとおり改正することになりました。長井清掃事業所し尿処理施設共幹改良工事については、総額三億七千二百七十五万円で契約を締結することになりました。

フラワー探検隊 ドイツ・オーストリアへ派遣

本組合では、花のまちづくりを担う青年リーダーの育成を目的に海外の花の先進地を視察する「フラワー探検隊」を八月二日から九月六日までの七日間、ドイツとオーストリアに派遣します。

ドイツでは、「我が村を美しく運動」の発祥地であるマイナウ局と、ミュンヘン市のクラインガルテンを、オーストリアでは、美しい景観と国際的なリゾート地として知られるアレゲンツと昨年のアンタントフローラル（国際フラワーコンクール）でグランプリを受賞した小さな村ハードを視察研修しました。

視察先では行政訪問を交えながら、花のまちづくりの状況などについて研修します。今年度の隊員は多数の応募者の口から選考された次の方々です。

遠藤恵樹さん（米沢市）
鈴木由美さん（〃）
鳥海有子さん（〃）
武田隆若さん（高島町）
佐藤博昭さん（〃）



事前研修で本組合理事長と懇談

フラワー長井線に “獅子が舞う”

フラワー長井線利用拡大協議会では、本年度のPR事業の一つとして、山形新幹線と接続する赤塚駅構内に、沿線各市町に伝承されている獅子舞をモチーフにしたユニークな「動く獅子のモニタメント」の設置を計画しています。

その可動装置は、沿線の長井工業高校の生徒が独自に開発し、製作を進めています。

一方、昨年一月に開設したホームページも好評で、アクセス件数は千六百件を越えました。

（アドレス）
<http://www.jan-re.jp/flower>

おきたまのよみ

八月（葉月）

11 川西タリヤ園ツアー（川西町）
10/31 観光ぶどう園参観（南陽市）
9 青竹らようちんまつり（高島町）
15/16 大相撲南陽場所（南陽市）
18 やまがた林産学校 椎名誠と あやしい探検隊（南陽市・川西町・小国町）
23/30 国際文化フェスティバル 期間中
23/24 能・狂言の公演 コメディア・テアトル（小国町）
30

九月（長月）

5/7 いいてめさみの里まつり（飯豊町）
20/21 上杉鷹山公まつり（米沢市）
21/23 白鷹祭り 伝統工芸祭（白鷹町）

十月（神無月）

10/5 第05回南陽の菊まつり（南陽市）
11/10 野外コンサート シヤスフェスティバル（高島町）

南陽市制三十周年

記念事業について

南陽市は昭和四十二年四月一日に宮内町・赤湯町・和郷村が合併してできた県内十三番目の市です。今年には南陽市が誕生して三十周年目にあたり、去る六月一日に行われた記念式典をはじめ、各種記念行事が予定されています。

また、南陽市は中国河南省南陽市と友好都市の盟約を締結して十年目でもあり、市制施行三十周年記念事業の一つとして、来る十月八日と十月十四日まで、「中国南陽市」を訪問する「市民のつばさ」(団員

募集は締め切りました)を予定しており、中国南陽市市民との交流と両南陽市の友好発展に努めてまいります。

おきたま研究所だより

おきたま研究所では、去る七月五日、川西町の浴浴センター「まどか」において総会を開催し、本年度の事業計画と予算などを決定しました。

また、総会後、川西町フレンドリープラザ館長の竹田又右衛門氏を講師に迎え、「イサベラ・パドが見た桃源郷おきたま」と題し

置賜広域行政事務組合職員採用試験案内

◆試験区分・受験資格

●初級技術(電気、機械)

昭和47年4月2日から昭和55年4月1日までに生まれた人で高校卒業程度の知識並びに電気又は機械に関する専門的知識を有する人

●初級寮母(夫)

昭和51年4月2日から昭和55年4月1日までに生まれた人で高校卒業程度の知識を有する人

◆採用予定人員

各区分とも若干名

◆採用予定年月日

平成10年4月1日

◆受験申込書交付場所

置賜広域行政事務組合事務局総務課又は置賜315町の市役所、町役場の企画課で交付

◆試験日・試験会場

平成9年10月5日(日)

◆募集期間

平成9年9月1日から9月19日まで

◆受験申込の受付及び照会先

置賜広域行政事務組合

事務担当総務課

米沢市金池3丁目1番55号

☎0238(23)3245



置賜さくら園跡巡りツアーのようす(白鷹町の釜の越桜前で)

講演会を開催しました。

なお、おきたま研究所は、本組合が実施しているフラワー探検隊並びに地域づくり調査隊の隊員の有志が、広域的な地域づくりを實踐するため平成七年に設立した地域づくりグループです。今年度の所員数は三十八名で役員は次の方々です。

- 所長 今野 正明(白鷹町)
- 副所長 山下 和枝(米沢市)
- 幹事 我妻 雄子(米沢市)
- 平 美佐子(長井市)
- 江口 英治(米沢市)
- 今井 幸隆(高島町)
- 高橋 勇子(〃)
- 渡藤 節子(川西町)
- 鈴木 善夫(米沢市)
- 小島 栄一(高島町)

(敬称略)

中旬 第13回縄文まつり

17/19 第12回全日本ハンクゲ

ファンディングレディー
スカップin南陽

(南陽市)

古田歌舞伎 (小国町)

(高島町)

まはるに縄文まつり

(小国町)

黒沢味まつり (小国町)

十一月(霜月)

長井マラソン大会

(長井市)

十二月(師走)

保呂羽堂年越し祭

(米沢市)

お問い合わせ先

●米沢市観光物産課 0238(22)5111

●長井市商工観光課 0238(84)2111

●南陽市商工観光課 0238(47)3211

●高島町商工観光課 0238(52)1111

●川西町商工観光課 0238(42)2111

●白鷹町商工観光課 0238(85)2111

●飯豊町商工観光課 0238(72)2111

●小国町商工観光課 0238(62)2260

施設紹介

道の駅いいで

「めざみの里観光物産館」(飯豊町)

飯豊町に「めざみの里観光物産館」を中心とした道の駅「いいで」が、四月一日にオープンし、連日大勢のお客さんで賑わっています。

新潟(日本海)と仙台(太平洋)を結ぶ内陸横断ルートのはは中間地点の国道一一三号沿いに総事業費一億五千万円をかけて、建設。置場地域では、初めての道の駅で、約二・五ヘクタールの敷地には一八〇台収容可能の大駐車場と豪農の中門廻りを基本にした建物の中

に道路博物館、物産館、レス、ラウン、テーマ館、ファーストフード店、農林産物直売所など充実した施設がズラリ。湖りの美しい田園や自然景観とも良くマッチしています。

ここは、ドライバーのみなさんはもちろん、誰もが「知・憩・買・味・集・遊」を満喫できるジョイフルゾーン。みなさんもぜひおいでください。

「お問い合わせ先」

めざみの里観光物産館

0238(86)3939

花たち



センニチコウ (ヒユ科 春まき1年草)

私は、別名センニチソウとも呼ばれているの。7月から10月頃までの長い間咲き続けるのでこう名づけられたの。私の育て方にとってはとっても簡単。日当たり、水はけの良いところに植えるだけ。こう見えても丈夫なので、特に皆さんを困らせるようなことはないと思うわ。

それから私はドライフラワーにもなるの。そうすればいつまでも皆さんのそばにすることができるのよ。よろしくね!

花自慢



飯豊町添川中洞 遠藤謙一さん
7年前から育てている寒梅。「毎年、正月になると見事に咲いてくれます。」
(取材日 平成9年1月13日)



米沢市春日 太田美代さん
平成8年11月末頃から咲き始め12月中旬から満開になりました。「これまで数回咲いたが、このように満開になったのは初めて。」
(取材日 平成8年12月27日)

花自慢したい方はご連絡ください。

・連絡先 米沢市金池3丁目1-55
置賜広域行政事務組合企画企画係
TEL 238(23)3246 FAX 238(24)4559